

平成24年度「道徳教育学校改善プラン」					学校名	四万十市立中村南小学校				
校長名	徳弘 純一		教頭名	則 ルリ		道徳教育推進教師名		宗崎 幸枝		
教職員数	21	学級数	8(2) 児童・生徒数		213(3)		※平成24年4月現在の状況を記入してください。 ※学級数及び児童生徒数について、特別支援学級は()内に外数で記入してください。			
1 学校の状況	平成24年4月初の状況					中間検証時の状況				
	<p>○「豊かで かしく たくましく」の学校教育目標の実現を果たすべく、恵まれた教育環境を生かして、道徳教育を中心に、徳育・知育・体育のバランスのとれた教育活動の充実を目指して研究や実践を推進している。</p> <p>○道徳教育に関しては、ここ2年間、道徳教育推進教師と研究主任を中心に、道徳授業の質的改善と道徳実践の場や機会の指導の充実を目指して取り組んだ。その結果、あいさつ、掃除、安全な歩き方などについての指導や評価が洗練されてくるとともに、教員の道徳授業に対する関心・意欲が高まり、授業力が向上してきている。</p> <p>○本校の児童は、明るく素直、純真で交友を好む児童が多いものの、家庭環境及び学習指導上、配慮が必要な児童も多くなる。保護者や地域は、学校に協力的で、子どもの教育についての関心も比較的高い。児童については、学校におけるさまざまな場面で、道徳的な行為や判断などを含めて道徳性の高まりがみられるようになってきた。</p>					<p>○学校(教職員)全体で道徳教育を推進していく雰囲気があり、学校生活の様々な場面で、児童の内面と行為・行動を育てる指導と評価ができています。自主性や判断力にまだ弱さがある。</p> <p>○道徳教育全体計画、道徳の時間の年間指導計画、研究推進計画等に沿って、着実に実践を積み、研究発表会に向けた道徳授業研究や、研究紀要の作成等を通して、これまでの研究成果を整理し、課題を明確に共通理解して、さらなる充実を目指そうとしている。</p> <p>○学習態度に意欲や向上心、真剣さがみられ学力向上の成果が表れてきたほか、体育学習や体育的行事などにも目標意識や関わり意識をもって臨み、学校教育目標の具体的な姿や成果が顕著にみられるようになってきた。保護者への啓発と連携の深化には、課題が残っている。</p>				
2 道徳教育推進の具体的な到達目標	平成24年4月初					中間検証				
	<p>○道徳の時間の計画的な実施と質的改善に向けた実践的研究を進め、授業力診断シートや児童による授業評価及び意識等調査における「道徳授業」に関する評価結果において、85%以上の肯定的な評価を目標とする。</p> <p>○体験活動や学校行事等の各種教育活動、あいさつ、掃除、整理整頓、安全な歩き方など道徳実践の指導の充実に向けた取組により、児童の意識等調査及び学校評価における「道徳教育」に関する評価結果において、85%以上の肯定的な評価を目標とする。</p> <p>○道徳教育に重点をおいた総合的な取組により、保護者、児童、教職員の学校評価における学校満足度の肯定的評価を、それぞれ85%以上とする。研究発表会アンケートにおいて、参加者の肯定的評価85%以上を目標とする。</p>					進捗状況の評価		考察(到達目標の見直しを含む)		
		A		B・C・D		<p>○道徳性を育てる道徳授業や各教育活動の取組が意図的計画的かつ組織的に展開されており、質のいい道徳授業が展開され、さまざまな活動への参加意識や満足度が高まっている児童が多いように思われる。</p> <p>○「あいさつ、そして、歩き方」を重点とした道徳実践について、児童の意識の高まりや行動の変化が見受けられる。自主性主体性に課題が残る。</p>				
3 「2」の目標を達成するための今後の具体的な取組(項目別)										
※各項目内の枠の区切り方や「スケジュール」の時期の示し方は、適宜設定してください。										
	主な取組内容		取組内容の評価		スケジュール			中間検証		
	※誰が(どこが)何を行うのか分かるように。		指標	対象	A段階	1学期	2学期	3学期	評価	改善のために
道徳教育推進のための指導体制づくり	校長の方針のもと、道徳教育推進教師が中心となって学校全体の取組や研修計画を策定し、実施する。 ・道徳授業研究 ・道徳実践の指導 ・各種調査等		道徳教育推進教師を核に道徳教育推進指導体制が整備され、各組織が有機的に機能している。学校評価の「道徳教育」の項目において、3.5点(4点満点)以上を目標とする。	教員	3.5点	・全体計画、年間指導計画、各教科等との関連、統合指導計画の改善 ・研究計画の策定	・年間指導計画の改善	・全体計画、年間指導計画、各教科等との関連、統合指導計画の改善 ・次年度研究計画の策定	A B C D	●組織的かつ計画的な研究と推進の継続と、児童のレベルで研究実践が具現化されているかの検証と取組改善の強化。
	授業改善・学力向上研究PTと児童理解・実践活動研究PTを組織し、全教職員がそれぞれ役割と責任を担って、道徳授業の改善や道徳教育の充実を企画推進する。					・道徳実践の指導の重点と取組方策の策定と実施	・道徳実践の充実に向けた指導と評価の研究	・道徳実践の指導の重点と取組方策及び道徳授業の質的充実に向けた研究の総括		
	研究企画委員会(管理職、教務、研究＝道徳担当、両PTリーダー)を組織し、定期的に連絡調整をすることで、組織的、計画的かつ効率的な研究推進を果たす。					・道徳授業の質的充実に向けた研究視点の策定と実施	・道徳授業の質的充実に向けた授業研究	・道徳授業力診断シート及び授業評価、意識等の調査の実施		
心を耕す授業づくり	道徳教育推進教師が中心となり、各学年の道徳授業の計画段階での相談や準備支援、実施後の振り返りにあたり、日常的な道徳授業の充実を図る。		各学年の教材及び展開の概要、他の教育活動との関連等が整備されている。	実績	90%以上	道徳教育推進教師による全学年・学級への道徳の時間の授業参観と参画(計画準備・反省含)			●これまでの授業実践の整理と、質のよい道徳授業づくりに向けた目標・資料・発問・指導方法等の個人・協同研究の深化。	
	学級担任を中心に研究授業や公開授業を実施し、授業力診断シートや授業評価(児童、参観者)の結果や、研究協議の意見をもとに道徳授業の質的改善を図る。		道徳授業力診断シート及び児童の授業評価で、肯定的評価85%以上を目標とする。	教員児童	85%	研究授業(1年、2年、4年、5年) 公開授業研究会(6年)	公開授業研究会(3年) 研究発表会公開授業(全学年全学級)	公開授業(級外教員)		
	研究発表会に向けて、これまでの道徳授業研究の取組や成果を整理し、研究紀要にまとめ参加者に公表するとともに、事前研究を深め、発表会では良質の道徳授業を公開する。		研究発表会アンケートの「道徳授業」において、肯定的評価85%以上を目指す。	参加者	85%	各学年・学級毎の授業力診断シート及び児童による授業評価表の活用 公開授業研究会及び研究発表会における授業評価表・参加者アンケート				
重点推進校としての成果普及	道徳の時間の公開授業研究会及び研究発表会を実施し、研究の成果を公表するとともに、広く意見をもらい、道徳授業・道徳教育の改善や充実に役立てる。		公開授業研究会(6月・9月)及び研究発表会(11月)を実施する。	実績	3回	第1回道徳授業公開研究会(第6学年)	第2回道徳授業公開研究会(第3学年) 道徳教育重点推進校研究発表会		●研究発表会を充実した内容にするとともに、各種研修会や研究会、他校校内研修、HP等における積極的な研究成果の公表と普及。	
	道徳教育推進教師が中心となり、道徳教育の取組を研究紀要及びホームページを通して、積極的に公表する。		HPにおいて道徳教育の取組を毎月更新発信する。	実績	毎月更新	ホームページ原稿の作成と公開 研究紀要の作成と公表				
	四万十市や幡多地区及び高知県内の道徳教育関係の研修会や研究会に積極的に参加し、本校の研究実践の取組について、提起や公表を行う。		研修会・研究会に参加し、実践発表や授業提起、研究会の役員等を積極的に引き受ける。	実績	発表提起5本以上	四万十市・三原村道徳教育推進委員会・研修会(推進地区協議会) 道徳推進リーダー育成公開研修会高知県教育委員会主催研修会 文部科学省・高知県教育委員会指定校研究発表会・公開授業研究会等 幡多地区道徳教育研究会・高知県道徳教育研究会主催研修会・研究会				
その他										

A→達成十分 B→おおむね達成されている C→あまり達成されていない D→達成不十分